

## 令和4年度循環器病対策関係事業の取組状況

## 1 循環器病の予防や正しい知識の普及

発症予防のための健康的な生活習慣づくりや危険因子に関する普及啓発

## 【新】(1) つながる健康プロジェクト

「健康を次の世代につなげる」ことをコンセプトに、世代間で健康づくりを支援するため、働き盛り世代向けの「ウォーキングファンドキャンペーン」や、学生向けの「つながる健康キャンペーン」「若者会議」を開催



## 【新】(2) おうちで減塩キャンペーン

県民の塩分摂取量の減少に向け、調味料メーカーやスーパーと連携した減塩セミナーを開催するとともに、セミナー参加者が家庭で実践した成果を基に、スーパー店頭等での情報発信を行い、減塩商品利用へのきっかけをつくるキャンペーンを実施



## ■調味料メーカー直伝！減塩セミナー

- ・開催日 令和4年9月10日（土）
- ・場 所 アルビス大島店
- ・参加者 だしコース23名、しょうゆコース22名

## ■おうちでこっそり減塩キャンペーン

- ・期 間 令和4年11月1日（火）～11月14日（月）
- ・場 所 アルビス減塩商品売り場（POP等掲示）



## 【拡】(3) 食の健康づくり推進事業

食を通じた健康づくりを支援するため、食生活改善に向けた取組みを行っている飲食店等を「健康寿命日本一応援店」として登録、PRし、普段の食事を健康的な食事に置き換える行動変容を促進



## 【拡】(4) ぐっすりとやまプロジェクト

メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを高める睡眠不足等の解消に向け、「睡眠の日」（9月3日）を契機とした取組みを実施

## ■ぐっすりとやまシンポジウム

- ・開催日 令和4年9月3日（土）
- ・参加者 県民92名



■ぐっすりとやまキャンペーン

- ・期 間 令和4年9月3日（土）～10月31日（月）
- ・参加者 362 チーム、1,667 名

■ぐっすりとやま出前講座（5 枠）

- ・2 企業、2 団体で実施（参加者計 132 名）

※R4 年 12 月末時点 残り 1 枠



（５）働き盛りの健康づくり支援事業

主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、「楽しみながら」「継続して」健康づくりに取り組む環境を整備 ※R4 年 3 月末時点：累計ダウンロード数 18,230 件



（６）野菜をもう一皿!食べようキャンペーン

「野菜の日」（8 月 31 日）を契機として、家庭における野菜摂取の目標（1 日 350g）の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進を普及・啓発する。

- ・期 間 令和4年8月31日（水）～9月30日（金）
- ・協力店舗数 630 店舗（R4 年 8 月 31 日時点）



（７）「健康経営」普及支援事業推進事業

従業員の健康づくりについて、先導的かつ他の企業への横展開が見込まれる取り組みを行う企業を顕彰する「とやま健康経営企業大賞」等を実施

【過去の表彰（H26～R3） 全 44 社】

（８）たばこ対策啓発事業

① 禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

(a) 世界禁煙デー・受動喫煙防止啓発ポスターの配布、掲示

(b) 普及啓発物品の配布・貸出し

受動喫煙防止リーフレット、タペストリー（世界禁煙デー、受動喫煙防止）、のぼり旗、ビブス

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

② 禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介

（一般社団法人日本禁煙学会ホームページへのリンク）

## (9) 受動喫煙防止対策推進事業

令和2年4月1日から全面施行された改正健康増進法の円滑な運用のため、情報連絡会等の開催や、周知啓発、体制整備を行っている。

- ・改正健康増進法の周知用リーフレットの配布や受動喫煙防止啓発物品の配布
- ・喫煙専用室等の基準適合性に関する相談指導のための測定機器を各厚生センターに配備



## (10) 青少年健康づくり事業

生活習慣が形成される青少年期からの健康づくりを推進するため、学校保健と連携し、喫煙防止を中心とした健康教育や健康づくり支援体制を整備。

## 【新】(11) 循環器病県民公開講座の開催

循環器病は、発症時に適切な治療を行うことで、後遺症を含めた予後の改善につながるため、循環器病の最新治療と予防に関する正しい知識を普及啓発するための県民公開講座を開催

### ■「専門医が教えます！脳卒中と心臓病の最新治療と予防法」

- ・開催日 令和4年8月27日（土）
- ・場 所 富山県総合福祉会館1階福祉ホール  
（会場とYouTube配信によるハイブリッド開催）
- ・参加者 会場42名、YouTube視聴回数172回
- ・内 容



### 【第1部】

講演「専門医が教えます！脳卒中と心臓病の最新治療と予防法」

講義①「防ごう！ 治そう！ 脳卒中」

講師：富山大学附属病院脳神経外科 講師 秋岡 直樹 氏

講義②「急性心筋梗塞：予防法と最新の治療」

講師：富山県立中央病院循環器内科 部長 音羽 勘一 氏

講義③「ここだけ抑えよう、心不全診療の神髄」

講師：富山大学附属病院循環器内科 講師 今村 輝彦 氏

### 【第2部】脳卒中と心臓病に関する劇 小杉爆笑劇団

「循環器病、この症状が出たら救急車！&今日からできる発症予防」

### ■ケーブルテレビ放映

上記講演会の様子を、県内の全9局のケーブルテレビにて放映

- ・期間 令和4年9月30日（金）～10月31日（月）

## 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

### (1) 循環器病を予防する健診の普及

#### 【新】①ヘルスケア分野における PFS を活用した保健事業の導入可能性調査

民間事業者の創意・工夫を取り入れたより効果的な特定健診受診勧奨等の手法を探るため、県内複数市町村において PFS を活用したモデル事業実施に向けた事業を設計

- ・参画市町 8 市町

#### 【新】②高血圧性疾患のデータ分析

市町村国保・後期の脳血管疾患等を発症した者について、レセプト等から、治療や服薬状況、健診データを分析し、重症化につながるリスク要因を明らかにする。

- ・分析対象 市町村国保・後期の 7 年間追跡可能者 約 197,000 名
- ・分析データ レセプトデータ、特定健診データ、介護データ等

#### 【新】③特定健診受診、生活習慣病予防等に関する普及啓発

40・50 代の特定健診受診率の向上や、予防・健康づくりの機運の醸成を図るため、ナッジ理論を用いた普及啓発の取組を実施

- ・受診勧奨ホームページの作成（「とやま健康ラボ」内に掲載）  
（令和 4 年 11 月～12 月現時点ホームページへのアクセス数 7,295 回）
- ・受診勧奨ホームページへの誘導広告（WEB、新聞、シティスケープ）
- ・YouTube での受診勧奨動画作成  
（R 4 年 11 月～12 月現時点再生回数 266 回）

#### ④特定健診データを活用したリスク因子状況分析

市町村国保・協会けんぽの健診データから生活習慣病のリスク因子を分析し、地域の健康課題を把握、課題に対応した事業展開を検討する際の基礎資料として市町村や保険者等へ情報提供

#### ⑤地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健等が連携し、健康課題の明確化や健康づくりに関する取組み及び連携方策等について検討・調整するための協議会を設置し、青壮年期の生活習慣改善等、生涯を通じた健康づくりを推進

## (2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保

### ①救急業務高度化推進協議会の開催

救急搬送の実施基準及び救急救命士の処置範囲拡大等を検討するため、医療機関、消防機関等を構成員とする会議を開催

### ②救急受診ハンドブックを活用した普及啓発

症状に見合った適切な医療機関へのかかり方などに関する情報をまとめたハンドブックを県ホームページに掲載



### ③救急救命士病院実習受入促進事業補助金

医療機関が救急救命士に対して行う心肺蘇生法等の救急救命処置実習を支援。実習の実施に係る経費に対する助成（運営費）を行う。

### ④ドクターヘリの運航

救急患者の救命率向上や後遺症の軽減に資するため、ドクターヘリを運航

・令和4年度実績（9月末時点）：要請 352 件、受諾 327 件

（前年同期：要請 390 件、受諾 372 件）

・ランデブーポイント箇所数：612 箇所（令和4年12月8日時点）

### ⑤医療提供体制設備整備事業

救急医療を担う医療機関が行う設備整備を支援。その購入費に対する補助を行う。

## (3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

### ①診療データの収集・分析

- ・ 富山県脳卒中情報システムにより、急性期から回復期における脳卒中患者の発症と診療データ等を収集・分析し、脳卒中患者の実態及びリハビリテーションの実施状況を把握し、脳卒中对策に活用
- ・ 急性期病院における急性心筋梗塞の診療データを収集・分析し、予後の改善に向けた対策を検討

### 【新】②医療勤務環境改善・キャリア支援事業

医師・看護職員等の医療従事者の離職防止や医療安全の確保を図るとともに、R6 年からの「働き方改革」に確実に対応するため、県「医療勤務環境改善支援センター」を県医師会内に設置・集約し、各医療機関が計画的に行う勤務環境

改善に向けた取組みを総合的に支援する。

### ③とやま地域医療連携ネットワーク推進事業

社会の高齢化や医療の高度化・細分化、医師の働き方改革により生じる「医師不足」を解消するために、富山大学にて、医学生の入学時から卒後臨床研修を経て専門医になるまでの支援を行う「医学生・若手医師のキャリア形成支援」を行い、医学生・若手医師を集めるとともに、県内定着を図る。また、「県内の医師偏在」を解消するために、富山大学附属病院にて、「地域医療総合支援センター」を設置し医師派遣を一元管理し、医師の偏在分析などをもとに実態に即した派遣を行う。

### 【新】④かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催

患者の在宅療養支援体制を充実させるには、診療の主体となるかかりつけ医の役割が非常に重要であることから、かかりつけ医が、心不全患者の在宅医療について理解を深め、心不全患者の在宅療養支援体制を整備することを目的として、かかりつけ医を対象に研修会を開催し、かかりつけ医の心不全対応力の向上を図る。

※R5年1月開催予定

### ⑤ 富山県在宅医療支援センター運営事業

在宅医療に取り組む医師の参入促進のための個別研修や、在宅医療提供体制の実態把握、在宅医療と介護連携の充実等に資する研修会を開催

二次医療圏単位で郡市医師会が中心となり、「人生の最終段階における医療とケアの意思決定支援」に関する県民向けセミナーを開催するとともに、医療圏共通の書式で作成した本人の意思決定支援を行うための「人生会議」記録ツールを多職種共同で運用を実施

#### ■主な実績

- ・在宅医療スキルアップセミナー等研修会の開催 5回
- ・センター運営協議会等で在宅医療提供体制の実態把握
- ・ケーブルテレビで「人生の最終段階における利用とケアの意思決定支援」に関する講座等の放映
- ・「人生会議」記録ツールに関する研修会の開催

### 【新】⑥富山県訪問看護総合支援センター事業

在宅医療を担う訪問看護の充実に向け、訪問看護ステーションの人材確保や質の向上に関するセミナーや研修会を開催



また、訪問看護に関する相談窓口を開設し、県民や訪問看護師、多職種からの訪問看護に関連する相談に対応するほか、訪問看護ステーションの安定的な運営に関するアドバイザーの派遣事業等を実施

■主な実績

- ・ 県内大学看護学生への訪問看護インターンシップの実施（14名）
- ・ 訪問看護キャリア支援セミナーの開催 2回
- ・ 小児医療対応力向上技術研修会の開催（4日間）
- ・ アドバイザー派遣 12月に4ステーションへ実施

⑦看護職員育成研修支援事業

特定行為研修の受講及び認定看護師の資格取得を支援する施設に対し、受講料の一部助成を実施

⑧在宅医療を支える看護職員の支援

患者・家族の現状やニーズに応じた質の高いケアが提供できるよう、在宅ケアに関する専門的な知識や技術を持つ看護師等をアドバイザーとして事例検討会へ派遣。また、医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、入院患者が適切に在宅へ移行するための連携方法を学ぶ研修会を実施

⑨回復期機能病床確保事業

地域医療構想に基づき、病床の機能分化・連携を促進するため、急性期や慢性期機能病床から回復期機能病床への転換等に係る施設又は設備の整備に対し、必要な経費を助成

- 2病院、計 50 床の回復期機能病床への転換を助成予定

【参考：回復期病床数】

H26	R3
769 床	1,826 床

## (4) リハビリテーションの体制整備

### ①富山県リハビリテーション支援センターの運営

県のリハビリテーションの拠点として、関係機関との連絡・調整や研修会等を行い、県内の地域リハビリテーションの推進体制の充実を図る。

#### ■連絡調整会議の開催

第1回：令和4年6月1日（水）

・出席者 各病院の理学療法士、作業療法士等リハビリテーション関係者30名

第2回は、令和5年2月頃に開催予定

#### ■富山県地域リハビリテーション従事者研修会の開催

第1回：令和4年9月1日（木）

・講義 「失語症がある人へのコミュニケーション支援」

・出席者 63名

第2回は、令和5年2月頃開催予定

#### ■脳卒中情報システム回復期分析（R2～）

県民への良質な回復期リハビリテーションの提供に資するため、県内の回復期医療機関における脳卒中の回復期リハビリテーションを評価した。

#### <R3 脳卒中情報システム回復期分析結果>

分析件数：576件

	低FIM群	中FIM群	高FIM群
患者数(人)	222	210	144
年齢（中央値）（歳）	78	74	72.5
入院時運動FIM（中央値）（点）	15	39	63
退院時運動FIM（中央値）（点）	27	75.5	87
運動FIM利得（中央値）（点）	10	33.5	20

出典：回復期リハビリテーション病棟に関する調査・分析報告（2022年3月）

#### ■病院 - 在宅連携調査の実施（H26～）

（地域リハビリテーション広域支援センターと協働で実施）

介護保険サービスを利用する高齢者等が、退院後も安心して在宅療養生活が送れるよう、医療機関と介護支援専門員の連携状況等について調査

【参考：退院調整率】

H26	R3
76.7%	89.5%



## ②地域リハビリテーション広域支援センターの運営

全ての医療圏に広域支援センターを設置（6機関）し、リハビリテーション従事者等への専門的な技術支援や関係者研修会等を開催し、資質の向上に努める。

令和4年度は、新たに心不全患者への対応や心臓リハビリテーションをテーマとした研修会を開催

### ■開催状況

富山医療圏で令和4年11月29日（火）に開催（出席者169名）

今後、2箇所の広域支援センターで開催予定

## ③地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営

全ての医療圏に地域包括ケアサポートセンターを指定・運営（10機関）することにより、地域ケア会議や、介護予防教室、通いの場等へのリハビリ専門職の派遣体制を強化し、市町村における介護予防事業等の取組を支援する。

### ■市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績（件数）

区分	地域ケア会議	介護予防教室	通いの場	研修会講師	その他	計
令和元年度	58	52	42	3	20	175
令和2年度	75	76	26	3	22	202
令和3年度	110	51	62	19	22	263

※その他の内容：住宅改修の相談、同行訪問、フレイルサポーター養成講座等

## （５）循環器病と緩和ケア

【新】①かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催（再掲）

【新】②循環器病県民公開講座の開催（再掲）

## （６）相談支援及び情報提供

### ①高次脳機能障害支援普及事業

富山県高次脳機能障害支援センターにおいて、高次脳機能障害に関する理解を深めるための普及啓発、関係機関との連携体制の整備、高次脳機能障害者やその家族等への相談、就労などの総合的な支援を実施

【R3年度実績：相談延件数2,123件、支援計画策定会議数48回】

## ②障害者就業・生活支援センター事業

障害者就業・生活支援センター（４か所）において、職場体験、求職活動、職場定着相談などの就労支援、健康管理、住居、年金などの生活設計に関する助言など、日常生活、社会生活上のきめ細やかな相談支援を実施

【R４年３月末時点実績：利用登録者数 2,083 人】

## （７）循環器病の後遺症を有する者に対する支援

- ①高次脳機能障害支援普及事業（再掲）
- ②富山県リハビリテーション支援センターの運営（再掲）
- ③地域リハビリテーション広域支援センターの運営（再掲）
- ④地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営（再掲）

## （８）治療と仕事の両立支援・就労支援

- ①富山県地域両立支援推進チーム会議による情報共有

県内における両立支援を推進する関係機関で構成された富山県地域両立支援推進チームにより、地域版リーフレット（事業主向け、労働者向け）の改定や好事例の収集を実施。

## （９）小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策

- ①小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性疾病児童等自立支援員等による小児慢性特定疾病児やその家族に対する療養相談・情報提供等の支援を実施

- ②心臓病の子どものためのオンライン講演会

心臓病の子ども及びその保護者を対象とした講演会の開催  
（富山県心臓病の子どもを守る会と共催）

・日 時 令和４年 10 月 23 日（日）13：30～15：00

・内 容 Web 講演会

「子どもと取り組む、今できる移行期医療

～自分らしく生きていくために必要な準備をしよう～」

講師：富山大学附属病院小児科 助教 小澤 綾佳 氏

・参加者 34 名

### ③学校心臓検診の実施

学校保健安全法に基づき、小学校、中学校、高等学校各1学年全員に義務づけられている。一次検診は、心臓検診調査票や学校医の診察所見、心電図（心音図）により判定を行う。二次以降の検診では、専門医診察や精密検査等で総合的に判定され、異常がみられた場合は、学校生活管理指導表に基づき、生活管理・指導を行う。運動制限がある場合は、児童生徒の指導区分を十分に把握して学校での心臓突然死の予防に努めている。

## 3 循環器病の調査・研究推進

### （１）診療データの収集・分析

国が進めている循環器病データベース構築にかかる情報の収集・活用の公的な枠組みの構築状況を注視

### （２）本県の特徴を踏まえた研究推進

#### ①診療データの収集・分析（再掲）